



株式会社ウイルテック

東京証券取引所スタンダード市場

証券コード：7087

2024年3月期第3四半期

決算説明資料

2024年2月9日



2024年3月期
第3四半期
決算概要

4



2024年3月期
業績予想

12



トピックス

15



APPENDIX

18

- **数値に関する注意事項**

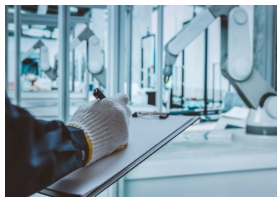
当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

- **見通しに関する注意事項**

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

事業セグメント

マニファクチャリング サポート事業



株式会社ウイルテック

- 製造請負・製造派遣
- 機電系技術者派遣
- 修理サービス

コンストラクション サポート事業



株式会社ワット・コンサルティング

- 建設系技術者派遣
- 工事の請負・受託
- 建設に関する教育・研修

ITサポート事業



株式会社パートナー

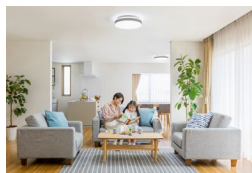
- ITエンジニア派遣
(SE・PG・IT基盤/運用等)
- 請負開発：社内開発

EMS事業



デバイス販売テクノ株式会社


- 電子機器の受託製造
- 電子部品卸売



HotaluX 株式会社ホタルクス

(2023年12月25日 グループ会社化)

- 各種光源／照明器具／その他光技術を利用した関連製品の設計、開発、製造及び販売

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

2024年3月期第3四半期 決算概要

2024年3月期第3四半期決算概要

- 技術者派遣・EMS事業は堅調であるものの、基幹事業の製造請負・製造派遣の需要減により対前期比で減収減益
- M&Aによる特別利益および投資有価証券評価損などによる特別損失を計上

(百万円)	2023/3期 第3四半期 実績	2024/3期 第3四半期 実績	前年比 増減率
売上高	25,001	24,185	▲3.3%
営業利益	771	74	▲90.4%
経常利益	890	140	▲84.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	464	426	▲8.3%
一株当たり四半期純利益 (円)	74.07	66.49	

営業利益増減要因分析

売上高影響

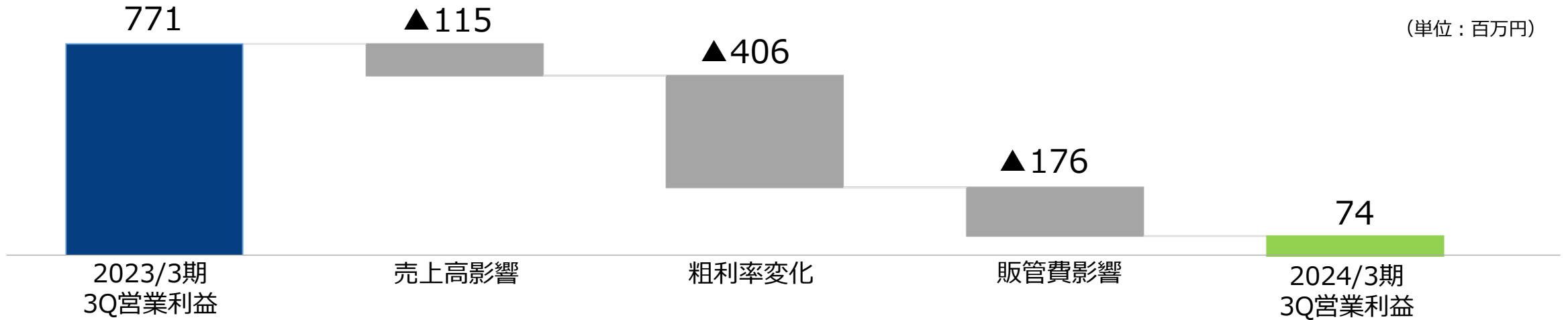
- 製造請負・製造派遣分野の半導体市場の低迷が長期化したことにより、マニユファクチャリングサポート事業が減収
- 技術者派遣分野、EMS事業は増収

粗利率変化

- 製造請負・製造派遣において半導体市況の回復に備えた待機人員の研修等により、粗利率が大幅に悪化
- コンストラクションサポート事業は、2024年以降の人材需要増加を見越し、採用・教育に注力

販管費影響

- 拠点展開による費用増、および事業活動費、M&A費用の増加

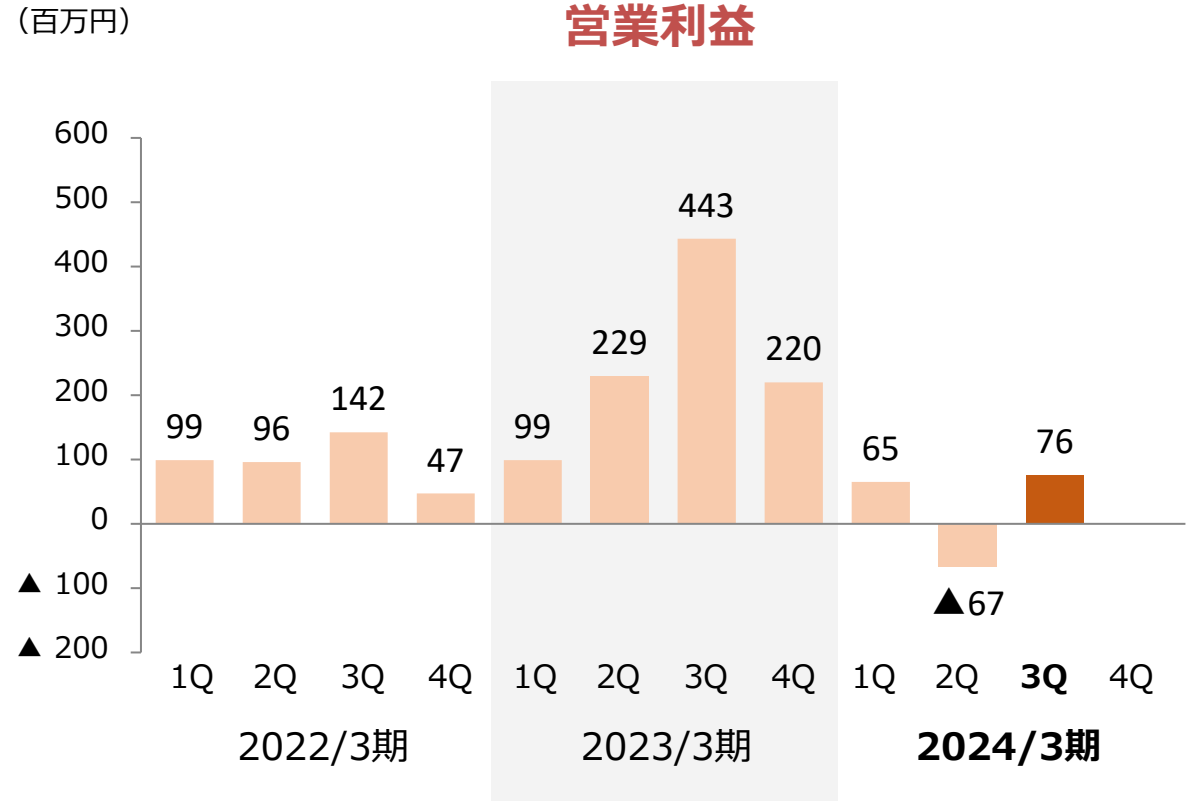
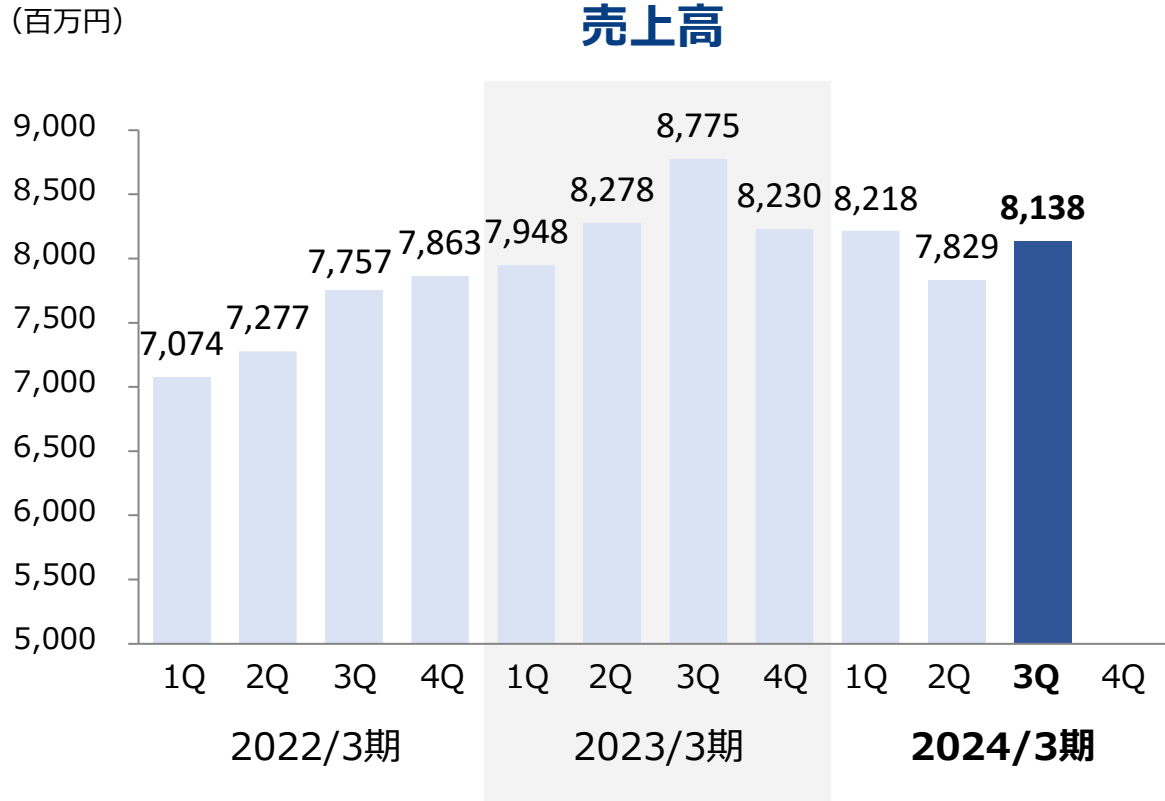


セグメント	売上高影響	粗利率変化
マニユファクチャリングサポート事業	▲10.2%	▲2.9%
コンストラクションサポート事業	+13.1%	▲0.6%
ITサポート事業	+7.9%	+0.5%
EMS事業	+8.1%	+0.8%
その他	▲7.5%	▲1.2%

2024年3月期業績推移（四半期単位）

【売上高】 主力事業の製造請負・製造派遣の需要回復が遅れ、大幅に減収

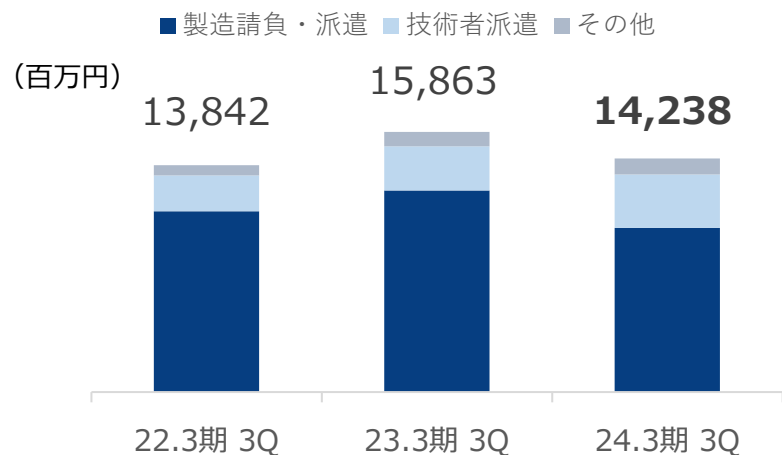
【営業利益】 製造請負・製造派遣事業での待機人員の増加により、期初より営業利益率は低調に推移



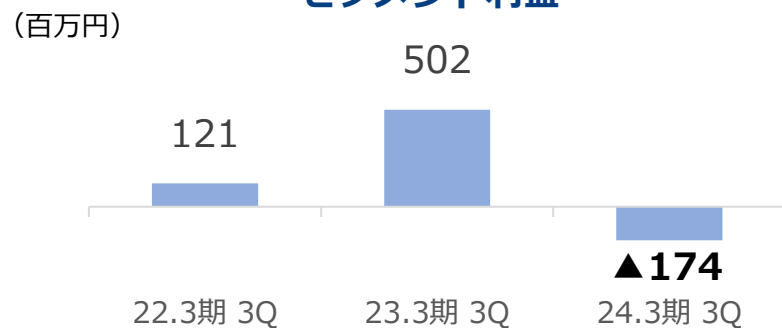
セグメント別業績 マニファクチャリングサポート事業

- 当社の既存顧客において全般的に減産傾向となり、売上・利益共に悪化
- 輸送用機械器具、情報サービス、業務用機械器具分野への営業強化など、新規顧客開拓に注力

セグメント売上高



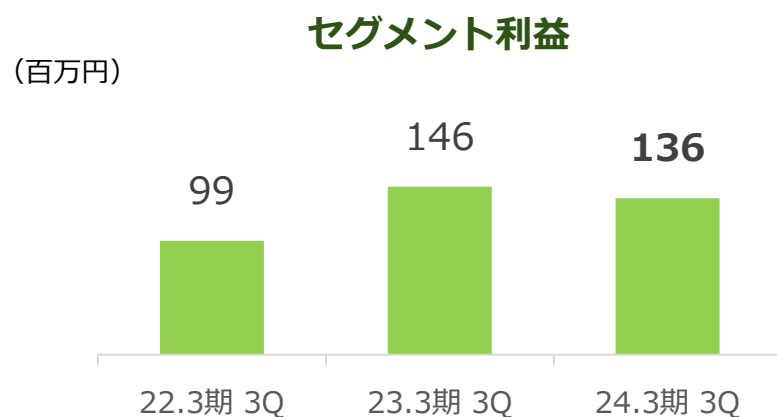
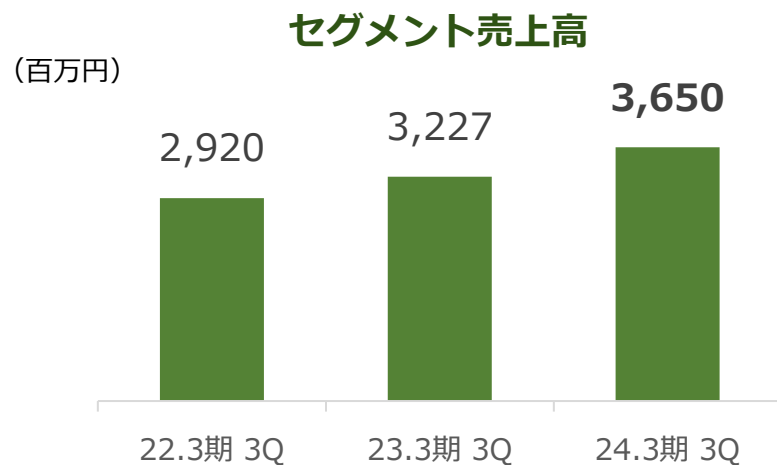
セグメント利益



(百万円)	2023/3期 第3四半期	2024/3期 第3四半期	前期比 増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	2,666	2,535	▲4.9%
情報通信機械器具製造業	5,241	3,289	▲37.2%
電気機械器具製造業	2,345	2,120	▲9.6%
輸送用機械器具製造業	1,331	1,409	+5.9%
生産用機械器具製造業	1,140	1,080	▲5.3%
その他	3,137	3,804	+21.3%
セグメント売上高	15,863	14,238	▲10.2%
セグメント利益	502	▲174	▲134.7%

セグメント別業績 コンストラクションサポート事業

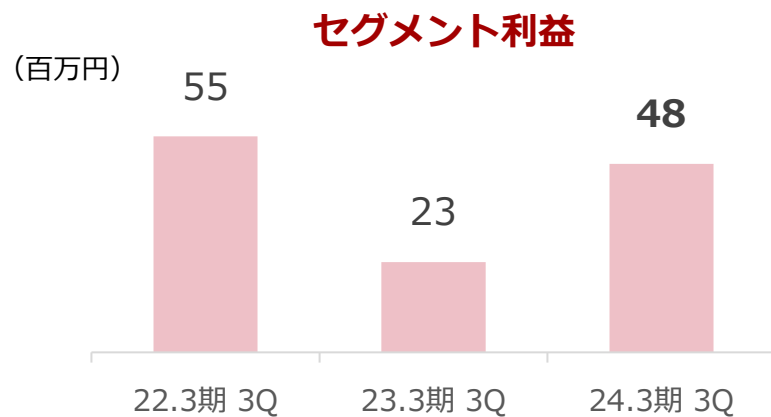
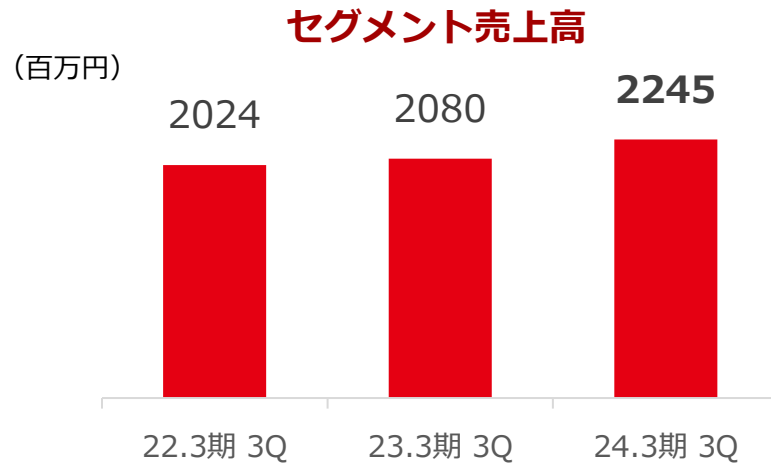
- 大型再開発プロジェクトなどで人材需要は堅調
- 2024年問題（時間外労働の上限規制）に向けた需要に応えるため、採用・教育に投資を強化



(百万円)	2023/3期 第3四半期	2024/3期 第3四半期	前期比 増減率
人財サービス事業	3,136	3,561	+13.6%
(内 建築分野)	(1,081)	(1,197)	+10.7%
(内 建築設備分野)	(1,677)	(1,955)	+16.6%
(内 その他分野)	(378)	(409)	+8.2%
請負・受託、その他	91	89	▲2.2%
セグメント売上高	3,227	3,650	+13.1%
セグメント利益	146	136	▲6.7%

セグメント別業績 ITサポート事業

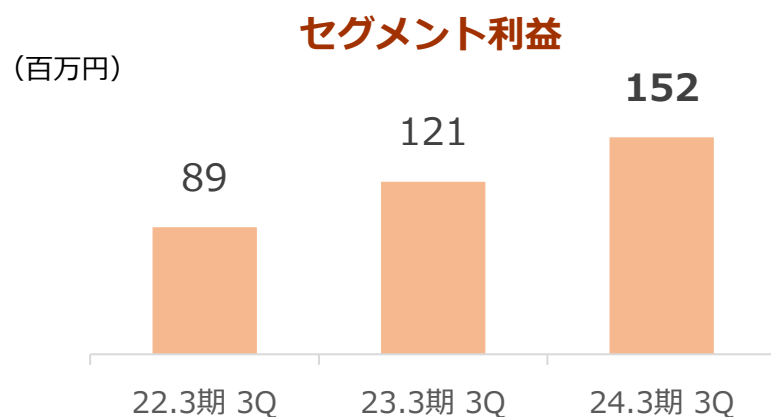
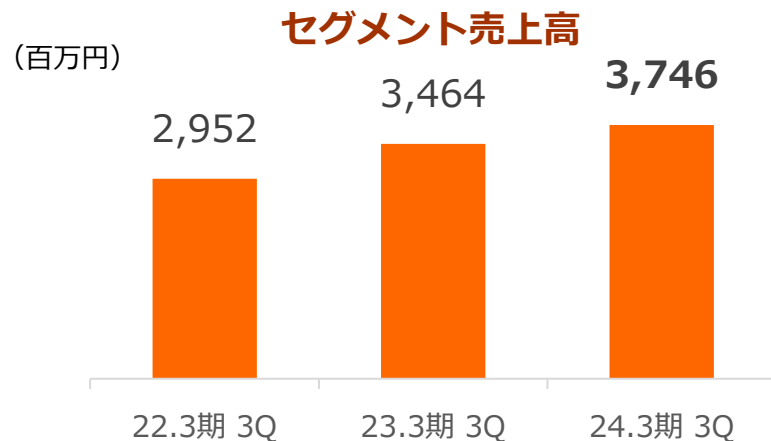
- ERP関連など高需要分野への教育を集中したことにより受注拡大
- 新卒採用含め、グループシナジーを活用した採用投資の効果が表れはじめる



(百万円)	2023/3期 第3四半期	2024/3期 第3四半期	前期比 増減率
システム開発 【アプリケーション】	1,700	1,816	+6.8%
(内 WEB系)	(907)	(965)	+6.4%
(内 オープン系)	(328)	(290)	▲11.6%
(内 汎用系)	(126)	(130)	+3.2%
(内 ERP)	(339)	(431)	+27.1%
その他	380	(429)	+12.9%
セグメント売上高	2,080	2,245	+7.9%
セグメント利益	23	48	+105.4%

セグメント別業績 EMS事業

- デバイスは半導体製造装置関連で一部在庫調整となるも、工作機械・物流・インフラ関連の新規受注が好調
- ユニットでは環境商材および、設備関連顧客における需要が堅調



(百万円)	2023/3期 第3四半期	2024/3期 第3四半期	前期比 増減率
デバイス	2,003	2,044	+ 2.0%
ユニット	1,462	1,702	+ 16.4%
セグメント売上高	3,464	3,746	+ 8.1%
セグメント利益	121	152	+ 25.8%

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

2024年3月期 業績予想

2024年3月期業績予想

- 最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日公表の連結業績予想を修正
- M&Aによる負ののれん発生益、のれんの減損損失、および投資有価証券評価損の発生により特別損益を計上

(百万円)	2022/3期 実績 (A)	2023/3期 実績 (B)	2024/3期 通期予想 (C) (従来計画)	2024/3期 通期予想 (D) (2024/2/9発表)	増減額 (D-C)
売上高	29,971	33,231	35,578	35,578	0
営業利益	384	991	1,055	100	▲955
経常利益	648	1,132	1,102	170	▲932
親会社株主に帰属する当期純利益	292	656	643	450	▲193
一株当たり当期純利益 (円)	46.79	104.34	102.28	70.17	-
通期配当 (中間配当) (円)	38 (10)	40 (12)	40 (20)	40 (20)	-
EBITDA	843	1,248	1,232	-	-
ROE (自己資本利益率) (%)	4.3	9.3	8.7	-	-

当社グループの需要見通しと対応

	市場の需要見通し（24.3期）	当社の対応
マニファクチャリング サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> スマホ・PC関連の半導体市場は在庫調整が想定より長期化 車載関連の回復は来期にずれ込む見通し 	<ul style="list-style-type: none"> 新規取引先開拓に向けて営業強化 人員の最適配置、海外人材の活用を強化
	<ul style="list-style-type: none"> 機械系・電気系技術者のニーズは堅調 半導体関連工場の半導体設計ニーズは堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な配置転換により技術者のスキルアップを促進 外国人技術者の活用推進 海外現地での技術研修センター新設
	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池、EV充電器市場への参入企業増加に伴い、導入・保守ニーズが拡大 DX投資に伴うロボット・AI関連の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池/EVインフラ関連の事業領域拡大 ロボット導入、保守人材の育成など体制構築の推進 ロボット関連の国内外企業とのアライアンス推進
コンストラクション サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 建築・建築設備における人材ニーズは引き続き堅調 電気工事については、公共事業・EV設備工事が増加 2024年問題（時間外労働の上限規制）に伴う人材不足 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育を含めた海外人材の教育（施工管理） 技術サポート人材として女性の採用を強化 教育コンテンツの制作、eラーニング及びオンライン研修の販売に注力 公共事業の電気工事、EV設備工事など受託事業の実績積み上げ
ITサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> WEB／ERP、高スキル経験者の需要が引き続き堅調 保守業務における需要は堅調継続 官公庁関連の顧客ニーズが堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 経験者を中心としたチーム提案の推進 受託案件の受注推進 海外人材の採用強化
EMS事業	<ul style="list-style-type: none"> 設備関連で特に中国を中心とした輸出需要が減少 環境関連商材の需要は堅調 原材料高騰に伴い、蛍光灯の単価が上昇傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 新規商材の取り込み 好調である環境商材に注力 効率的な生産体制の構築により工場稼働率を向上 仕入部材高騰・製造原価の上昇により、製品の価格改定を実施

A short horizontal line with a blue segment on the left and a green segment on the right.

トピックス

エネルギー関連事業の強化（EV関連）

- 韓国のEV充電ソリューション企業「EVAR Inc.」と日本国内PoCサイト運営に関するMOUを締結



(左) EVAR社 CEO Lee Hun (右) ウイルテック 取締役 西隆弘

EVAR Inc.

2018年に韓国にて設立。主にEV充電器の開発・製造を行う。日本市場への新規参入に伴い、当社カスタマーサービス部門とPoC（実証実験）サイト運営を開始。



- 建設分野でEV関連工事を受託

コンストラクションサポート事業



建設受託工事にて、都内マンションや大型商業施設駐車場へのEV充電器設置工事を実施

- 現地調査
- 補助金申請
- 設置工事

IRイベント参加

ラジオNIKKEI&プロネクサス

東京

「企業IR&個人投資家応援イベント」

- 開催日：2024年2月23日（金・祝）
- 時間：12:30~17:25（開場 12:00）
- 会場：大崎ブライトコアホール

▼ラジオNIKKEI セミナー案内

<https://www.radionikkei.jp/irevent/240223tokyo.html>


〈当社IRセミナー〉

時間：15:40~16:20

登壇者：取締役 管理本部長

渡邊 剛

事前登録で
入場無料

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

APPENDIX (2023年12月末時点)

「千変万化」

感性を高め、事象を予測し、変化に対応

今日、私たちを取り巻く環境においては、
急速かつ様々なパラダイムシフトが日々生じています。
私たちはその変化をビジネスチャンスと捉え、
全従業員の英知の結集と挑戦で新たな付加価値を創造し、
社会とお客様に感動を与える。
それがウイルテックグループです。

代表取締役
宮城 力

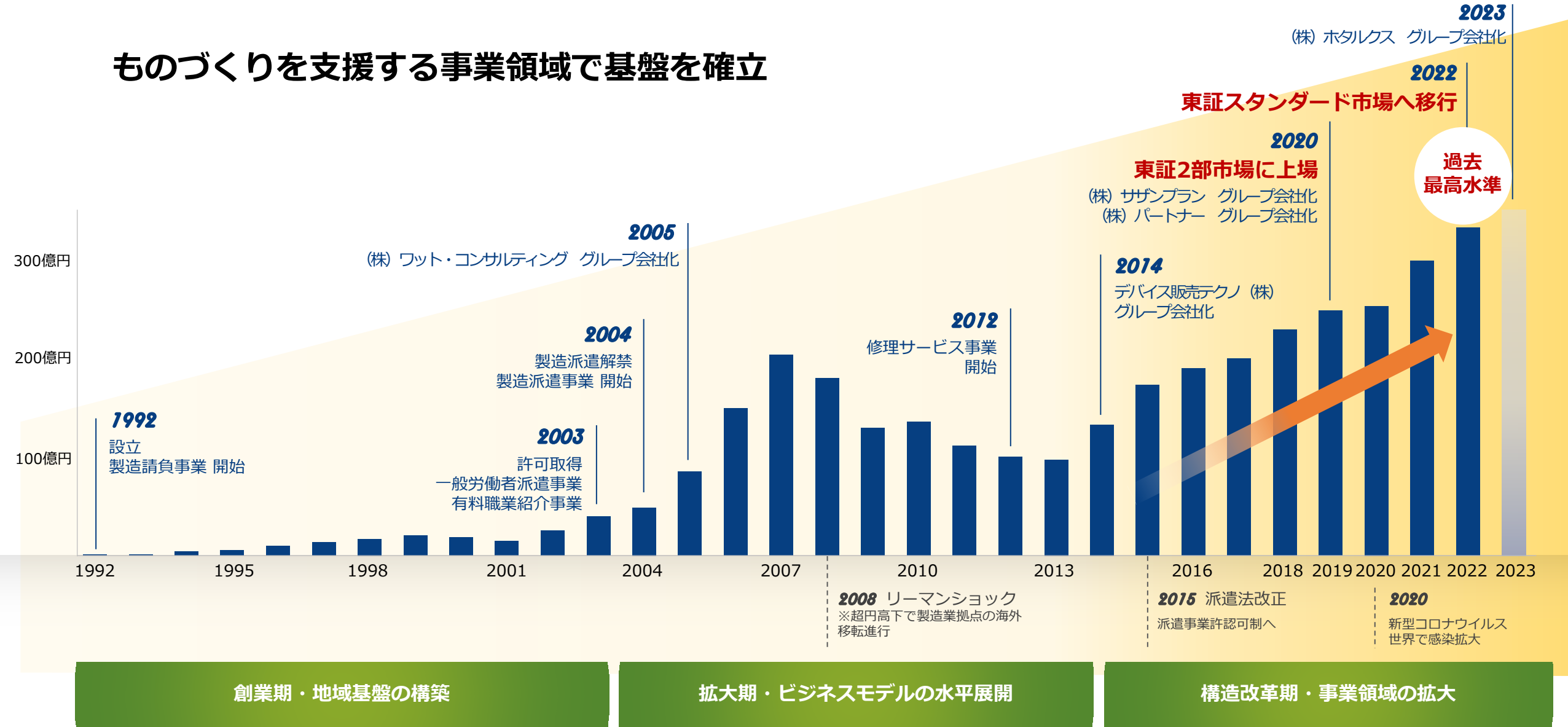


会社概要

社名	株式会社ウイルテック (英文表記: WILLTEC Co.,Ltd.)			
代表者	代表取締役 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	155,750,000円			
役員構成	取締役会長執行役員 代表取締役社長執行役員 取締役常務執行役員 取締役上席執行役員 取締役上席執行役員	小倉 秀司 宮城 力 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛	取締役上席執行役員 取締役上席執行役員 取締役(常勤監査等委員) 社外取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員)	石井 秀暁 水谷 辰雄 京崎 利彦 麻田 祐司 見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成など			
売上規模	33,231百万円 (連結/2023年3月期)			
従業員数	5,997名 (連結/2023年3月末時点) ※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社パートナー 株式会社ホタルクス		WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd. 株式会社ウイルハーツ 株式会社サザンプラン	

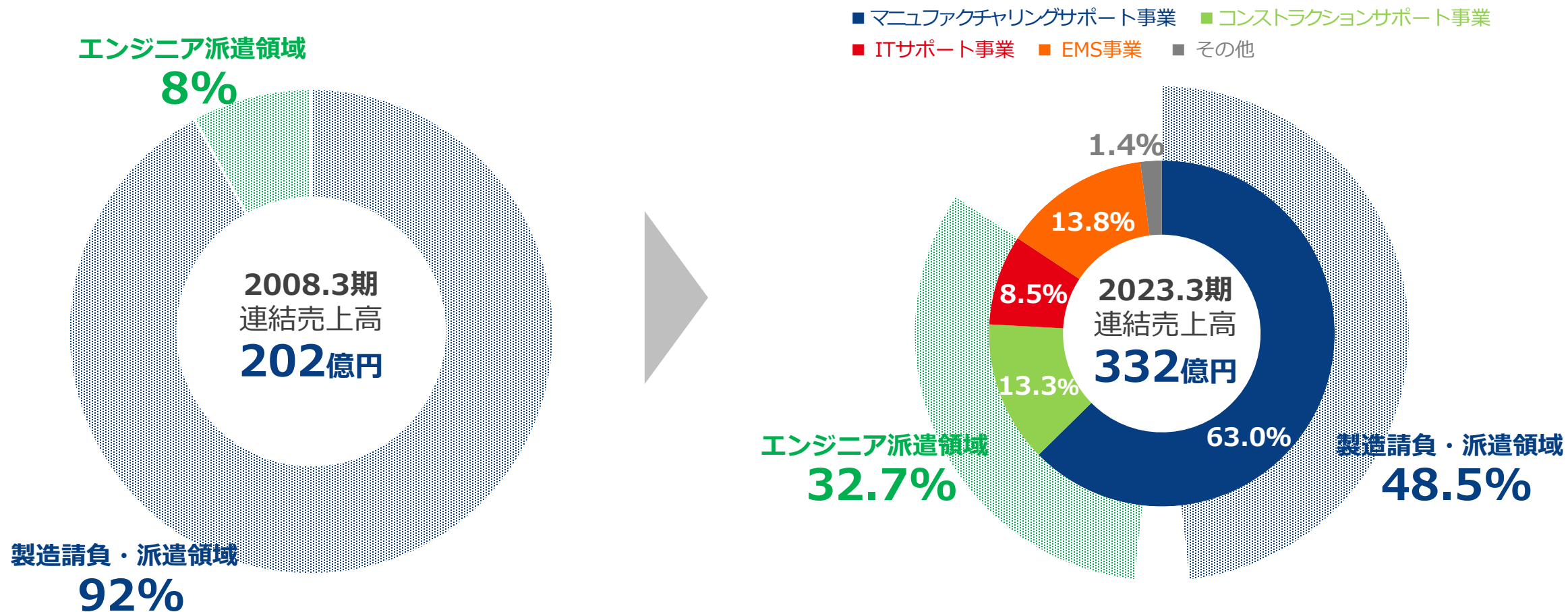
売上高推移と沿革

ものづくりを支援する事業領域で基盤を確立



事業ポートフォリオ

■ 事業領域の拡大 ⇒ 市場環境に左右されにくい「安定経営」へ



人財基盤

創業以来
「人財が成長基盤」

教育や雇用環境整備に
積極投資



改善の風土

長期顧客化

人財派遣から
顧客ニーズを深掘り

請負契約を獲得、
長期契約につなげる

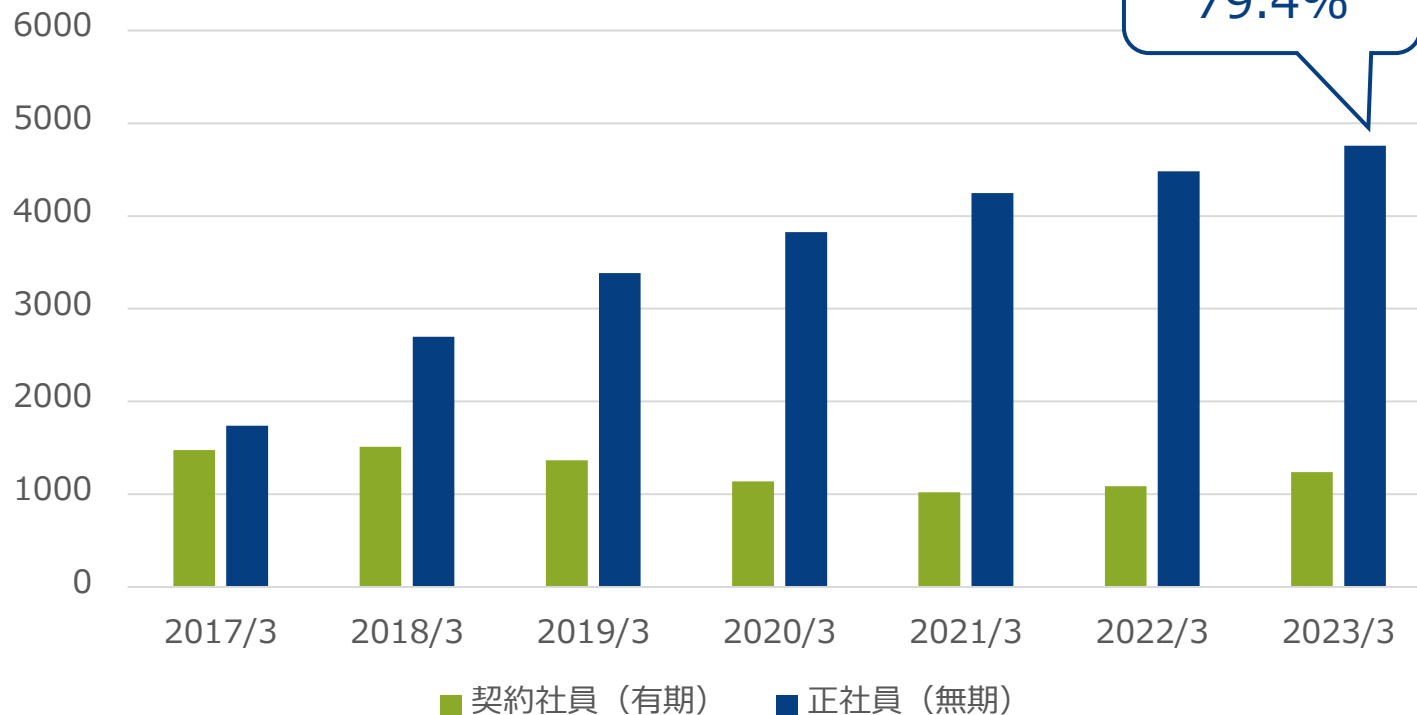
- 技術改善・設備設計の専門部門による顧客課題への提案活動
- 年1回の「改善発表会」開催による現場改善のベストプラクティスの共有

当社グループの強み① 人材基盤

- 創業来「人財が成長基盤」と認識し、人財に積極投資。着実な業績向上を実現。
- 会社および従業員の長期的な成長を目指して正社員比率を高める

安定的な労働環境

人員推移（グループ）



教育環境の充実



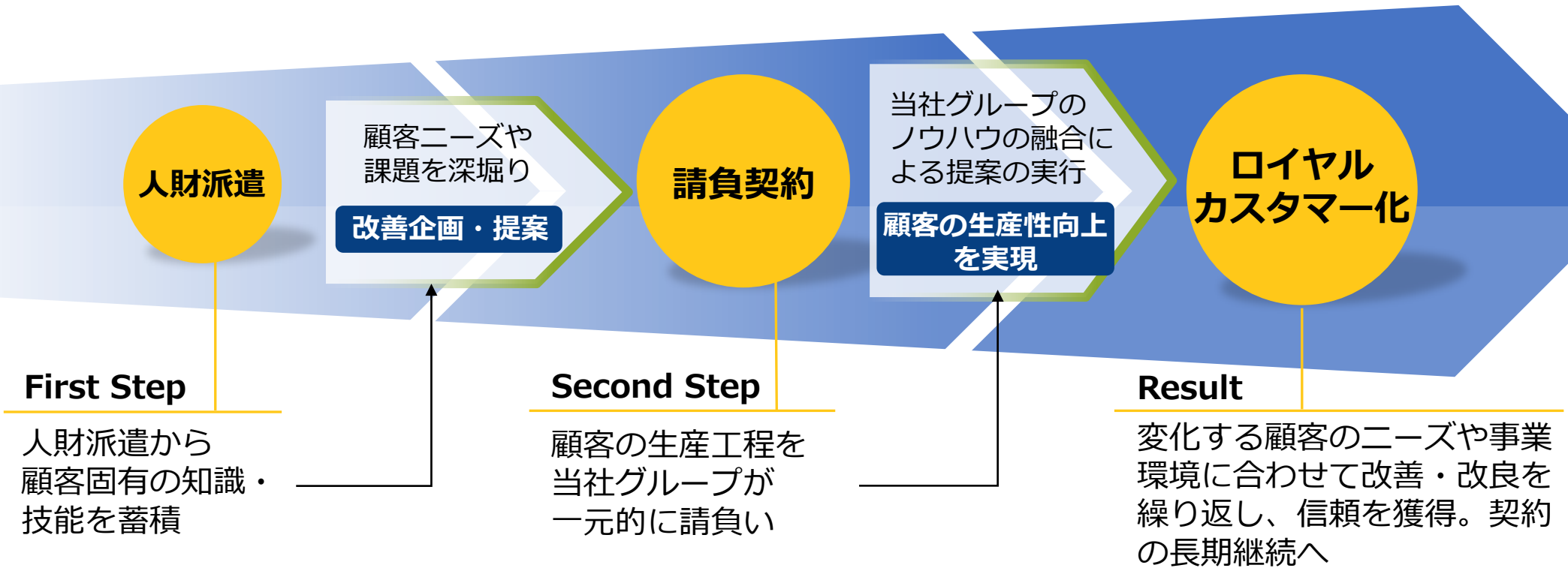
専任講師による専門教育



製造機材を使ったOJT教育

当社グループの強み② 長期顧客化

顧客ニーズの深掘りで信頼を獲得。契約継続年数は年々増加傾向



事業基盤

継続した高度技術人財の研修・育成と、従業員個々の高い改善意識

当社グループの強み③ 改善の社風

改善一番 Kaizen 1st



ベストプラクティスを共有

- 現場改善のベストプラクティスの共有と社員のモチベーション向上を目的に、2006年から毎年開催
- 製造現場のチームだけでなくバックオフィスのチームも参加し、全社的なイベントに成長
- このイベントが、各現場における改善提案の促進に貢献。生産効率、業務効率の向上に大きな成果





本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp